



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月7日

上場会社名 日本システム技術株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4323 URL http://www.jast.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 平林 武昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 大門 紀章 TEL 06-4560-1000  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 アナリスト向け

百万円未満切捨て

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,984	12.2	93	278.9	118	213.1	60	618.4
29年3月期第2四半期	6,226	12.0	24	△29.8	37	△29.9	8	△80.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 87百万円（－％） 29年3月期第2四半期 △16百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	11.55	—
29年3月期第2四半期	1.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	10,306	5,696	54.8	1,076.81
29年3月期	10,281	5,741	55.4	1,084.74

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 5,651百万円 29年3月期 5,692百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,625	2.8	790	38.3	795	27.4	470	14.4	89.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |   |   |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : | 無 |
| ④ 修正再表示              | : | 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	5,612,230株	29年3月期	5,612,230株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	364,210株	29年3月期	364,210株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	5,248,020株	29年3月期2Q	5,248,020株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続く中で各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調を維持しておりますが、米国や欧州の政治動向の影響や中国を始めとするアジア新興国の下振れ懸念、英国のEU離脱、相次ぐテロの発生など海外経済の不確実性が高まり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

国内IT産業につきましては、直近の統計(経済産業省、特定サービス産業動態統計8月確報)において、平成28年度の売上高前年比が1.3%増(平成27年度の売上高前年比は2.6%増)とプラス傾向を継続しており、さらに単月においても平成29年7月度まで売上高前年同月比が12ヶ月連続で増加を記録する等、業界全体として緩やかな拡大基調にあると認識しております。

このような環境下、当社グループ(当社及び連結子会社)の業績は、売上高69億84百万円(前年同期比12.2%増)、営業利益93百万円(前年同期比278.9%増)、経常利益1億18百万円(前年同期比213.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益60百万円(前年同期比618.4%増)と、前年同期と比較して、売上高及び各利益指標が全て増加しており、堅調な業績状況となりました。なお、セグメント別の内訳は以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業(受注ソフトウェアの個別受託開発)につきましては金融・保険・証券業及び官公庁向け案件等が前年を下回った一方で、製造業、通信業、教育機関及びサービス・流通業向け案件がそれぞれ増収となり、売上高は堅調に推移いたしました。外注加工費等のコスト増の結果、売上高48億23百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益73百万円(前年同期比39.9%減)となりました。

次に、パッケージ事業(学校業務改革パッケージの開発・販売及び関連サービス)につきましては、仕入販売及び運用サービスが前年より減収傾向で推移したものの、EUC(End User Computing:パッケージの周辺システム)の受託開発、導入支援及び大学向けPP(プログラム・プロダクト)販売といった収益性の高い案件項目が増収となり、売上高9億88百万円(前年同期比11.4%増)、営業利益62百万円(前年同期は営業損失45百万円)となりました。

次に、システム販売事業(IT機器の販売及び情報通信インフラの構築)につきましては、大学及び公共系案件の増収により、売上高は堅調に推移いたしました。収益性の低い機器販売が増加した結果、売上高7億95百万円(前年同期比57.6%増)、営業損失9百万円(前年同期は営業損失8百万円)となりました。

最後に、医療ビッグデータ事業(医療情報データの点検、分析及び関連サービス)につきましては、自治体向けレセプト管理クラウドサービスの導入が堅調に推移し、売上高3億76百万円(前年同期比12.9%増)、営業損失36百万円(前年同期は営業損失43百万円)となりました。

(当社グループの四半期業績の特性)

当社グループの事業であるソフトウェア、パッケージ及びシステム販売の特性といたしましては、顧客の検収時期が多く企業の会計期末にあたる3月に大きく集中し、次いで第2四半期末に当たる9月に集中する傾向があります。したがって、例年当社グループの第1、第3四半期連結会計期間の収益は、第2、第4四半期連結会計期間と比較して相当に少額となる特色があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

まず、流動資産の残高は78億24百万円(前連結会計年度末比73百万円増)となりました。これは主として売掛金の回収、前受金の増加に伴う現預金の増加及び仕掛品の増加によるものであります。また、固定資産の残高は24億82百万円(同48百万円減)となりました。

次に、流動負債の残高は31億50百万円(同72百万円増)となりました。これは主として前受金の増加及び未払法人税等の減少によるものであります。また、固定負債の残高は14億59百万円(同2百万円減)となりました。

最後に、純資産の合計残高は56億96百万円(同44百万円減)となりました。これは主として当第2四半期連結累計期間におけるその他の包括利益累計額の増加及び利益配当金の支払によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の状況は、期首の資金残高19億51百万円より7億38百万円増加し、26億89百万円(前第2四半期連結累計期間末残高は23億53百万円)となりました。なお、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

まず、営業活動によるキャッシュ・フローは、9億1百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は7億47百万円の収入)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが1億54百万円増加した要因は、主として売上債権の回収にかかる収入が増加した一方で、たな卸資産にかかる支出が増加したことによるものであります。

次に、投資活動によるキャッシュ・フローは、6百万円の収入(同35百万円の収入)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが29百万円減少した要因は、有形固定資産及び子会社株式の取得による支出が減少した一方で、定期預金の解約による収入が減少したこと等によるものであります。

最後に、財務活動によるキャッシュ・フローは、1億69百万円の支出(同1億25百万円の収入)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが2億94百万円減少した要因は、主として短期借入の実行額の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日発表しました売上高146億25百万円(前連結会計年度比2.8%増)、営業利益7億90百万円(同38.3%増)、経常利益7億95百万円(同27.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4億70百万円(同14.4%増)から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,365,633	3,104,769
受取手形及び売掛金	4,374,348	3,121,750
商品及び製品	86,509	236,099
仕掛品	505,244	930,472
原材料及び貯蔵品	3,317	2,177
繰延税金資産	270,257	236,595
その他	149,429	194,439
貸倒引当金	△3,858	△2,187
流動資産合計	7,750,879	7,824,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	669,615	649,805
減価償却累計額	△347,533	△357,743
建物及び構築物(純額)	322,081	292,062
土地	142,361	142,361
その他	375,955	383,796
減価償却累計額	△241,349	△261,942
その他(純額)	134,606	121,853
有形固定資産合計	599,049	556,278
無形固定資産		
のれん	40,491	33,963
ソフトウェア	109,996	89,105
その他	7,626	7,626
無形固定資産合計	158,114	130,695
投資その他の資産		
投資有価証券	625,020	674,199
退職給付に係る資産	479,037	488,552
繰延税金資産	76,560	55,322
差入保証金	376,763	371,512
その他	260,605	250,499
貸倒引当金	△44,649	△44,609
投資その他の資産合計	1,773,336	1,795,475
固定資産合計	2,530,500	2,482,449
資産合計	10,281,379	10,306,568

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,122,286	1,051,077
短期借入金	26,678	4,062
1年内返済予定の長期借入金	8,400	8,400
未払法人税等	281,537	46,980
賞与引当金	615,341	553,513
役員賞与引当金	29,174	13,925
工事損失引当金	1,561	—
その他	993,321	1,472,636
流動負債合計	3,078,301	3,150,596
固定負債		
長期借入金	28,000	24,500
役員退職慰労引当金	413,048	412,198
退職給付に係る負債	870,683	892,113
その他	150,188	130,593
固定負債合計	1,461,920	1,459,405
負債合計	4,540,222	4,610,002
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,076,669	1,076,669
資本剰余金	994,621	994,621
利益剰余金	3,740,158	3,669,567
自己株式	△266,539	△266,539
株主資本合計	5,544,909	5,474,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,686	126,345
為替換算調整勘定	△13,063	△17,046
退職給付に係る調整累計額	75,227	67,479
その他の包括利益累計額合計	147,850	176,779
非支配株主持分	48,396	45,467
純資産合計	5,741,157	5,696,565
負債純資産合計	10,281,379	10,306,568

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,226,979	6,984,487
売上原価	5,043,395	5,602,511
売上総利益	1,183,583	1,381,975
販売費及び一般管理費	1,159,009	1,288,868
営業利益	24,573	93,107
営業外収益		
受取利息	3,189	2,779
受取配当金	2,988	2,938
受取賃貸料	7,018	6,687
為替差益	—	3,923
保険解約返戻金	—	5,226
助成金収入	4,220	5,519
その他	11,677	4,072
営業外収益合計	29,094	31,148
営業外費用		
支払利息	580	711
為替差損	5,425	—
賃貸費用	8,697	3,455
その他	1,206	1,849
営業外費用合計	15,909	6,016
経常利益	37,758	118,239
税金等調整前四半期純利益	37,758	118,239
法人税等	33,490	60,321
四半期純利益	4,268	57,917
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,168	△2,691
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,436	60,609

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	4,268	57,917
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,788	40,659
為替換算調整勘定	△9,012	△3,455
退職給付に係る調整額	△9,311	△7,748
その他の包括利益合計	△21,111	29,455
四半期包括利益	△16,843	87,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,621	89,537
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,222	△2,164

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	37,758	118,239
減価償却費	35,266	56,189
ソフトウェア償却費	18,786	21,176
のれん償却額	6,264	6,528
賞与引当金の増減額(△は減少)	65,606	△61,772
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	32,704	21,235
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△8,401	△9,515
受取利息及び受取配当金	△6,178	△5,718
支払利息	580	711
売上債権の増減額(△は増加)	797,069	1,251,184
前受金の増減額(△は減少)	413,321	498,327
たな卸資産の増減額(△は増加)	△281,157	△573,647
仕入債務の増減額(△は減少)	△117,258	△71,183
その他	△154,848	△120,049
小計	839,515	1,131,705
利息及び配当金の受取額	6,919	6,361
利息の支払額	△697	△712
法人税等の支払額	△98,565	△235,775
営業活動によるキャッシュ・フロー	747,171	901,578
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	114,337	△17
有形固定資産の取得による支出	△46,264	△11,144
ソフトウェアの取得による支出	△3,375	△16,060
投資有価証券の取得による支出	△900	△992
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	—	9,260
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△26,827	—
保険積立金の解約による収入	—	12,275
差入保証金の差入による支出	△564	△861
差入保証金の回収による収入	583	12,149
その他	△1,242	1,886
投資活動によるキャッシュ・フロー	35,746	6,494
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	269,692	△22,659
リース債務の返済による支出	△10,250	△11,259
長期借入れによる収入	42,000	—
長期借入金の返済による支出	△43,835	△3,500
配当金の支払額	△131,200	△131,200
非支配株主への配当金の支払額	△1,164	△764
財務活動によるキャッシュ・フロー	125,241	△169,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,358	△385
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	905,801	738,303
現金及び現金同等物の期首残高	1,447,493	1,951,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,353,295	2,689,762

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	4,501,166	887,474	504,706	333,631	6,226,979	—	6,226,979
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	41,062	—	42,540	—	83,602	△83,602	—
計	4,542,229	887,474	547,246	333,631	6,310,582	△83,602	6,226,979
セグメント利益 又は損失(△)	122,775	△45,416	△8,886	△43,176	25,297	△723	24,573

(注) 1. 調整額のセグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ソフトウェア事業において、第1四半期連結会計期間に株式会社アイエスアールの株式を取得し、連結子会社としております。当該事象によるのれんの発生額は45,284千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	4,823,911	988,229	795,615	376,730	6,984,487	—	6,984,487
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,370	—	19,152	—	51,523	△51,523	—
計	4,856,281	988,229	814,768	376,730	7,036,010	△51,523	6,984,487
セグメント利益 又は損失(△)	73,829	62,243	△9,056	△36,226	90,790	2,317	93,107

(注) 1. 調整額のセグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。